

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次	点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見	
日常からの川と人のつながりの構築	人と川をつなぐ	「住民参加推進プログラム」の策定状況	「住民参加推進プログラム」の 作成・実践	住民参加推進プログラムの検討内容	住民参加推進プログラムの 活動内容 など	1	・進捗点検に関して、(河川管理者が主導する)河川レンジャーの活動以外にも市民団体がたくさん活動しているが、数字には挙がっていない。 ・実施内容が直轄区間の河川管理者だけの内容ではもったいないので、市民団体などの他の活動もあることはコメント的にも書き込んで欲しい。 ・住民参加推進プログラム、住民・住民団体との連携状況、河川レンジャーの進捗状況等に関して、様々な活動を通して住民・地域の意識がどのように変わっていくのか、参画する住民の数がどのように変化するのか、くみ取れるよう工夫が必要。	
		住民・住民団体(NPO等)との連携状況	住民・住民団体(NPO等)との 連携	河川愛護活動等の実施内容・回数	実施内容(回数)など	2	・河川愛護活動について木津上と青蓮寺ダムでゴミ回収量の記載があるが、地区別の人数、量の把握がされているのならば示していただきたい。地道な取り組みであるが今後の充実を図るためにも必要。	
		河川レンジャーの進捗状況	河川レンジャーの 充実	河川レンジャー選任システム・在籍人数	河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容(回数)など	3	・河川レンジャーは人数だけでなく、メンバーの更新など構成の多様化も評価に値する。
				4			・河川レンジャーの進捗状況を、現在のような河川レンジャーの人数や交流内容・回数では把握出来ない。何と何を掴んだかや連携した相手の変化などを盛り込むべきである。	
							・いい川にしていく整備にどれだけ河川レンジャーが関わったかを新たな指標に設けてはどうか。	
							・河川レンジャーの指標として、活動プログラムをどう組み立てているかがわかる指標を新たに設けてはどうか。	
								・レンジャー制度として閉じた評価ではなく、環境、治水、河川管理等の観点からレンジャー活動を評価することも必要であり、指標のもう一つ外側に他の点検の項目に対する貢献度のような欄を設けてレンジャーはこれだけ自主的に掲げた目標に対して貢献しているという形で評価されてはどうか。
		子供達の関わりを促進する取組の実施状況	子供達の関わりを 促進	環境教育等の実施内容・回数	環境教育等の実施内容(回数)など	5	・水質調査や生物調査のものより、人がそれに関わってどのように意識を醸成しているかというあたりが重要だと思うので、意識変化などのポイントを記述して欲しい。 ・環境教育の効果というのを検証できないか。その結果によっては環境教育の内容をより充実させたり、レンジャーのモチベーションの向上にもつながると思うので、ぜひ何かそういう目に見える形で、その効果というのを現していただきたいと思っています。	
		情報公開の状況	情報発信の 充実	情報公開の内容・件数	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組など	6	・河川管理者が発信した情報が、どう受信され、どう利用されたかということを把握することも重要である。	
		情報発信方法の検証		HP、携帯サイトの利用件数		7		
	HP、携帯サイトにおける新着情報の内容・アップ数	8						
情報公開発信に関する職員の意識向上	研修等の内容・開催数	9						

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次			点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見
川とまち・地域をつなぐ			意見聴取手法の開発に向けた取り組み	住民に関心をもってもらうための取り組み	住民、住民団体との交流内容・回数	住民、住民団体との交流内容(回数)など	10		
			小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備状況	小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長【重複】	小径(散策路)の整備内容・延長<ハード整備を集約>(ソフト対策は利用 番号108へ集約)など	11	・小径はハード整備だけではなく、ソフト面をいかに充実させるかという視点も必要。	
			憩い、安らげる河川を目指した河川事業の実施状況	憩い、安らげる河川の整備	バリアフリー化の内容・実施箇所数【重複】 河川を安心して利用できる整備内容・箇所数【重複】	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数<重複する 利用 番号106 を集約>など	12	13・バリアフリーについては点検の方法を再検討するべき。	
			三川合流部の整備状況	三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容【重複】	三川合流部交流拠点の整備内容<重複する 利用 番号111 を集約>など	14		
			良好な水辺まちづくりに資する河川事業の実施状況	(治水 番号78へ集約)	高規格堤防の整備内容・延長【重複】	(治水 番号78へ集約)	15		
洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数【重複】	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数<重複する 治水 番号60 を集約>など	16			
		関係機関との連携状況	関係機関との連携	自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数【重複】	(治水 番号58へ集約)	17			
		協議会等との連携状況【重複】	協議会等との連携内容など	18					
上下流の連携の構築	上下流の連携の構築	水源地域ビジョンの推進状況	上下流交流の促進	水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数【重複】	水源地域ビジョンに基づく活動内容<重複する 利用 番号114、115、116 を集約 >など	19	・水源地域の活性化に関する指標では、日吉ダムの水源地域ビジョンの推進状況について、イベントを行ったことや、その来場者数が記述されているが、この水源のビジョンの最終的な目標として、その水源地が健全な水源地であるためのビジョンが策定され、推進されているはず。健全な水源地であるべきというところどれぐらい寄与し得るかどうかの視点で定性的でもいので記述を工夫していただきたい。 ※番号114に同じ		
		上下流交流を促進するための活動状況	交流(水源ネットワーク)実施内容・回数	20					
良好な生物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生			琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全状況	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数[下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)、中流域(木津川)]	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数[下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)、中流域(木津川)]など	21		
			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容[中流域宇治川]	ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容[中流域宇治川]など	22				

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次		点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見	
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	在来種を脅かす対策の推進	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組状況	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域（盆地～源流部）木津川〕	オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域（盆地～源流部）木津川〕 など	23	・オオサンショウウオについては、上流へ移転させる個体数、量的な問題なのですが、例えば100匹ほどを上上げたとしても、それに耐える環境が20しかない1年、2年、3年たつうちに20に落ち付くということがあり、そういうことについてはモニタリングというよりも事前調査が非常に重要。	
					アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕 など	24		
					関係機関が連携した取り組み内容・回数〔全域〕	関係機関が連携した取り組み内容（回数）〔全域〕 など	25		
	外来種を脅かす対策の推進	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	外来種対策の実施状況	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策必要箇所の選定内容〔全域〕	外来種の現状把握と対策内容〔全域〕 など	26	・ボタンキクサが見られなくなったから駆除作業をしなかったとの記述があるが、これはこれまでの対策に効果があったから見られなくなったのであり効果が上がったとの評価を記すべき。	
					駆除対策・予防的措置の実施内容・駆除数量〔全域〕		27		
					外来種問題の啓発内容・啓発活動参加者数〔全域〕		28		
					外来種の駆除効果についての科学的検証内容〔全域〕		29		
	良好な景観の保全・創出	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の歴史・文化多様性の価値の保全状況	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容・整備延長〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕 など	30		
					河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止対策の実施状況	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止状況・対策箇所数〔全域〕	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数〔全域〕 など	31	
					ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施状況	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（山間部）名張川・宇治川・青蓮寺川〕 など	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（山間部）名張川・宇治川・青蓮寺川〕 など	32	
水辺や河原の保全・再生	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保状況	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）、下流域（湛水区間）、中流域木津川〕	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）、下流域（湛水区間）、中流域木津川〕 など	33			
				干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕 など	34	・ヨシ帯の再生事例で、資料の写真は株状のヨシに見えるが、株状であるなら、在来魚の産卵場所としては好ましくないとされていて、景観的にも問題であるので南湖や北湖の一部で問題視されている。面積だけの評価ではなく、質の評価も検討いただきたい。		

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次		点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見	
河川環境	魚がのぼりやすい川への再生	水域と陸域との連続性の確保と修復	内湾-汽水域-河川の連続性の確保状況	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容（淀川大堰）〔下流域（湛水区間）〕	既設の堰・落差工の改良内容（本支川、琵琶湖・流入河川含む）〔全域〕など	35	・魚の遡上について、それがどういふふう年度別に進んでいったのか。だんだん年度を越えてどういふふう改善していききました、今後こういふ見通しでこまでは多分やれると思いますとか、そうった文脈で語っていただけると姿勢がわかってよい。	
			横断構造物（貯水ダム・砂防ダム・井堰など）による遮断対策の実施状況		既設の堰・落差工の改良内容・魚道設置数〔全域〕		36		
			琵琶湖-内湖・流入河川間の連続性の確保状況		水域と陸域との連続性の確保と修復内容・箇所数〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕		37		
	川本来のダイナミズムの再生	水変動リズムの回復	川本来のダイナミズムの再生	流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善状況	水変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	38	・「既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数」の指標において、直接的な評価項目ではないが、例えば河道内工事による変化も土砂の移動という観点では同じ評価をなしえるといえる。つまり、点検時に事業ごとの個別評価に終わるのではなく、指標に関わる他の事業の効果も併せて河川管理目標達成度を評価する必要がある。
						瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	39	
						琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	40	
						既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	41	
						流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数〔全域〕	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数〔全域〕	42	
	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域対策と連携した水質の保全	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	水質総量規制の制度や対策の計画立案状況	水質総量規制の実施体制の検討内容〔全域〕	水質総量規制の実施体制の検討内容〔全域〕	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容〔全域〕	43	・水質の総量規制について、ソフト対策の話が多い。もう少し固いプロフェッショナルなアウトプットが必要。
						南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	44	
						新たな水質浄化の取り組み状況、流域全体での物質循環を含めた水質汚濁メカニズムの解明に関する調査研究内容〔全域〕	・水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容〔全域〕	45	
						琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	46	
河川の水質保全対策の取り組み内容〔全域〕						河川の水質保全対策の取り組み内容〔全域〕	47		
ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数〔全域〕						ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数〔全域〕	48		
流域視点による水質対策の実現状況						流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	43		

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次			点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見
土砂移動の連続性の確保				流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既設ダム）	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（ 既存ダム、ダム下流 ）など	49	
						土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設） など	50	
	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施・公表	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施状況	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容【全域】	河川環境のモニタリングの実施内容【全域】 など	51	・保全利用委員会の中で、いかに川らしい自然環境の保全・再生に向けた審議がなされたかを評価してはどうか。
		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工状況	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数【全域】	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数【全域】 など	52	
		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施状況	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容【全域】	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容【全域】 など	53	
		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ状況	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容・河川保全利用委員会開催数【全域】	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容【全域】 など	54	
河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成状況	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容・回数【全域】	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容（回数）【全域】 など	55				
流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施状況	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容【全域】	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容【全域】 など	56				
						災害体験者からの災害状況の聞き取り及びその情報発信内容	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び 防災意識の啓発内容 など	57	・災害が頻発していないようなところでこそ災害意識が高まる事が大切であるため、そういうところでの防災意識の向上の取り組みも進捗点検にいられたらいい。
						自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数【重複】	自治体、水防団、マスメディア等との 情報共有化のための情報伝達体制＜重複する 人川 番号17 を集約＞ など	58	・洪水に関する情報の伝達は、単に市町村に繋げる光ファイバーケーブル設備を接続した数ではなく、例えば何割の市町村でCCTV等の防災情報を見ることができるのかを確認した方がいい。また個人宛の情報提供手段の検討とそれがどのように使っているのかモニタリングが必要である。 ・今年も何回か京都近辺で避難準備に関する情報が次々と出たがなぜこの地域にこういう情報が出たのか、調べてもすぐにはわからない。水害関係の情報提供については、ポータルサイトがあるかどうかポイント。ポータルサイトには、整備局の情報を示す部分と、市町村に情報の示し方を例示する部分（ガイドライン）、各市町村の情報の入り口を示す部分で構成。これにより、地域住民にも避難情報の背景を理解するための情報が参照できる形になる。これらのポータルサイトでどの程度周辺情報を把握できるかを検討しておくことが必要。

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次			点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見
淀川水系における治水・防災対策	危機管理体制の構築	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の 確立	ハザードマップの作成内容・作成済み市町村数	ハザードマップの作成内容・ フォローアップ など	59	・アンケートやハザードマップは配布するだけでなく関心をもってもらうことが大事。そのためには現在の街の状況や内在する危険を知らせることから順番にレベルアップしていくことが必要。	
					まるとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数【重複】	(人川 番号16へ集約)	60		
					災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容	災害対応プログラムの作成内容 (災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容) <重複する 治水 番号66 を集約 >など	61	・勉強会、マイ防災マップ作りなどの対象者は現在の消防団の機能を担い得る様々な人が考えられる。例えば女性や子供が担える機能など、消防団の役割を細分化し、地域で分担して消防団の機能を補完しあうという考え方もある。また、評価の際、誰に対してどのようなプログラムを提供し、何をできるようにしたのかを言及できるのではないかと。 ・タイムラインというものを一つ避難勧告指示の発令基準の明確化、いわゆる要援護者に配慮したという主旨に適合した内容として報告をいただいた方がいい。 マイ防災マップ等でも要援護者というところの観点をもうちょっと入れていただきたい。	
					地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容 など	62		
					水防団の高齢化に対する支援の内容・講演、出前講座実施回数	水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承 など	63	・水防に関する講演・出前講座の回数が平成23年から減っている。講座を受けた方は習熟されると、講座が必要なくなったり、講座を受けた方が自ら講習をされたりといった状況が推定される。こういった場合、今後も減少していくことが想定されるので、指導者の育成の観点を追加する等の工夫をしてはどうか。 ・「水防団の高齢化」の中身は別に高齢化というところにウエイトが掛かっていません。これに関しては、この計画の中で指標として水防団の高齢化に対するという指標を入れていくのが妥当なのかどうかについても一度検討していただきたい。	
					水防拠点整備の内容・箇所数	水防拠点整備の内容・箇所数 <重複する 治水 番号74 を集約 >など	64		
					公共施設の耐水化の内容	公共施設の耐水化等の支援内容 など	65		
					災害対応プログラムの作成内容	(治水 番号61へ集約)	66		
水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数【重複】	水害に強い地域づくりに向けた取組内容 など	67	・水害協における関係自治体との連携内容については、実効性が評価できるように、専門知識の提供、普及啓発等の具体策を記載していただきたい。 ・水害に強い地域づくり協議会を行ったという点検だけでなく、協議会を行った結果どのように受け止められているか、どのように普及したか、どのように役立っているかという点検も必要である。						

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門委員会
資料-4

整備計画の目次		点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見
治水・防災			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況	河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域における保水・貯留機能確保の内容・貯留量	流域全体の総合的な治水の取組内容など	68	・総合治水に関する指標では桂川を「該当無し」としている。整備計画策定当初は猪名川しか計画はなかったかもしれないが、桂川流域でも推進していくべき項目なので、このような指標も情勢の変化に伴い見直しはどうか。
					洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の内容		69	・総合治水対策について、水を貯める能力を上げるということだけでなく、水がきても大丈夫なエリアがどれだけ増えたかという進捗点検もするべき。こういうエリアが面積的にどれだけ増えたかという形で評価するべき。
					河川整備計画と都市計画との調整の内容		70	
	堤防強化の実施	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施状況	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長 など	71	
					堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長 など	72	
					堤防天端舗装実施内容・延長	堤防天端舗装実施内容・延長 など	73	
					側帯整備実施内容・延長	（人川 番号64へ集約）	74	・側帯整備の「進捗なし」というのは、すでに完了しているのであれば、完了済みとした方が適切。
	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの状況 河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水水位の低減状況	上下流バランスの確保 河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水水位の低減	実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容	上下流バランスにおける調整内容 など	75	・上下流バランスの観点として、河川管理者の連携が重要である。しかし、進捗点検の中では触れられてないことから、上下流バランスの状況など点検項目が必要ではないか。
					実績降雨、計画規模降雨における越水及びHWL超過内容・超過延長	整備による効果 など	76	
					新設ダムの効果内容・洪水位低下量		77	
	高規格堤防（スーパー堤防）の整備	高規格堤防（スーパー堤防）の整備	ハードによる超過洪水対策の実施状況	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長【重複】	高規格堤防の整備内容・延長 ＜重複する 人川 番号15 を集約＞ など	78	
	土砂対策	土砂対策	土砂移動の制御の実施状況	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策（砂防堰堤、山腹工）の実施内容・箇所数	土砂移動抑制策（砂防堰堤、山腹工）の実施内容・箇所数 など	79	・土砂移動について、危機管理という観点からすると、制御と実態把握だけでは不足でありまして、土砂移動の現状がわかったときに施設を整備することと同時に、こういうものが来たときの減災対策の促進という観点が必要でしょう。土砂災害に対する被害軽減対策、あるいは避難体制の整備状況をぜひ入れていただきたい。
土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）【重複】					（環境 番号50へ集約）	80		
流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況					（環境 番号49へ集約）	81	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既設ダム）【重複】 （環境 番号49へ集約）	

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次		点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見	
高潮対策	既設ダム等の運用検討	既設ダム等の運用の検討	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	既存ダムの効果内容・洪水位低下量など	82		
							高潮対策		高潮被害軽減策の実施状況
	陸間操作の改善内容・箇所数【重複】	陸間の確実な操作のための取組など	84						
			地震対策	地震対策事業の実施状況	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数など		85
	緊急用河川敷道路の整備内容・延長	緊急用河川敷道路の整備内容・延長など							86
			地震・津波対策	地震・津波対策	津波対策事業の実施状況	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数など		87
	津波情報提供設備の設置内容・設置数	津波情報提供設備の設置内容・設置数など							88
									陸間操作の改善内容・箇所数【重複】
	利水	水需要の精査と水利権の見直し	水利権の見直し、転用の実施状況	慣行水利権の許可水利権化の実施	見直しと転用のためのルール作りの内容・件数	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況など	90		
慣行水利権の許可水利権化の実施状況							慣行水利権の許可水利権化の内容・件数	91	
		水需要の抑制	水需要抑制の実施状況	効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための検討内容	効率的な水利用のための検討内容と啓発内容など		92	
住民・事業所等に対する啓発内容・回数							93		
							既存水資源開発施設に配慮した効率的な水利用の促進	既存水資源開発施設の再編と運用の見直し実施状況	見直しによって効果をあげる事案の調査検討内容
水利権が見直された場合の既存水源の活用		安定した水利用が出来ていない地域の対策状況	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	新規水源の確保内容など	95			
						安定した水利用が出来ていない地域の対策	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	新規水源の確保内容など
97									
渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化（利水者会議）の実現に向けた内容・ヒアリング回数	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化（利水者会議）の実現に向けた内容・ヒアリング回数など	97		

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次			点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見		
		洪水対策容量の確保		洪水対策容量の必要性と確保手法の検討状況	洪水対策容量の必要性と確保手法の検討状況	洪水対策容量を確保することによる想定被害減少の検討内容	洪水対策容量を確保することによる想定被害減少の検討内容 など	98			
									・今の指標は、結果的にその評価としては、規制側に働いていなければならないが、実際に求めていることは、その水の融通や、あるいは利用の促進であり、指標としては、どれだけその水利権のまたがったところで融通ができたかというような、その自主的な指標を何らかの形で設けられないか。 量を計るとこんなメリットがあるということを出していく必要がある。		
川らしい利用の促進	川らしい利用の促進	舟運	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組状況（水面利用）	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組（水面利用）	舟運の取り組み内容・水制工整備数	舟運の取り組み内容 など		99			
		水面利用の促進						秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数【重複】		秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数 など	100
		水面利用の適正化									101
		安全利用のための対策	川の安全利用施策の実施状況	川の安全利用施策の実施	水難事故防止に向けた取り組み内容・実施数	安全利用点検の実施内容 など	102				
		環境学習の推進	「川に活かされた利用」の実施状況	「川に活かされた利用」の実施	環境学習などの実施内容・回数	河川でしか出来ない利用の実施内容 など	103	・学習機会の実施回数を評価しているが、川の利用に結びつく活動だったのかという視点で内容を評価する必要がある。 ・イベントだけでなく、実際のところ川で遊びまくってる人たち、子供たちがどの程度いるのかという実態の把握が必要。また、漁やヨシズを生業としている方など一次産業の方の関わり方も川を特徴づける川らしい利用と思われる。			
		川らしい河川敷の利用	陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組状況（川らしい河川敷利用）	陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組（川らしい河川敷利用）	河川保全利用委員会の取り組み内容・回数【重複】	河川保全利用に関する取組内容 など		104	・川らしい利用と銘打っている限り、利用の中身が川らしい利用になっているかを見ることが必要。川らしい利用がどういったものかをリストアップし、実際の利用がリストアップしたものにどれくらいの割合で達しているかを評価することも一つの方法である。 ・保全利用委員会の開催数だけでなく、公園施設等対象件数に対してどのくらいの件数が審議されたか分かるようにしていただきたい。川らしい河川敷利用については、淀川水系全体に全て共通の川らしい利用ということではなく、各河川毎の川らしい利用の検討をお願いしたい。		
		違法行為の是正						違法行為の是正内容・不法耕作面積【重複】	違法行為の是正内容 など	105	・河川の利用に関してはどんな利用を促進できたかということが重要であり、指標の中に利用実態のモニタリングという項目を設けていただいて、保全利用委員会の中で検討していただくことで、その結果がこの進捗点検の中にも反映されてくるのではないかと。

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次		点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見	
利用	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備状況	憩い、安らげる河川の整備	バリアフリー化の内容・実施箇所数【重複】	（人川 番号12へ集約）	106	・バリアフリーについては点検の方法を再検討するべき。	
	水辺の整備				水辺の整備内容	水辺の整備内容 など	107		
	小径（散策路）、「歴史文化の薫る散策道（仮称）」の整備				小径（散策路）の整備内容・延長【重複】	小径（散策路）の利便性向上の取組内容 ＜ソフト対策を集約＞（ハード整備は人川 番号11へ集約） など	108		・小径について、整備された全体延長が記載されているが、「ここだけは整備しないと歩けない」「整備した結果、これだけの延長がつながり整備効果があった」といった整理ができないか。 ・それぞれの地域で少しでも川に関心を持ってもらうために、地域にとって水防上重要な場所などと距離標とを、適度に関連づけて、QRコードによる情報提供等を充実させていくことが必要。
	迷惑行為の是正				迷惑行為の是正内容・対策箇所数	迷惑行為の是正内容・対策箇所数 など	109		
	ホームレスへの対応				ホームレス対応内容・確認数	ホームレス対応内容・確認数 など	110		
まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み状況	まちづくりや地域連携の取り組み	三川合流部の拠点の整備内容【重複】	（人川 番号14へ集約）	111		
					歴史文化と調和した河川整備内容	歴史文化と調和した河川整備内容 など	112		
					水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容 など	113		
水源地域の活性化	水源地域の活性化	水源地域ビジョンの推進状況	水源地域ビジョンの推進状況	水源地域ビジョンの推進状況	水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数【重複】	（人川 番号19へ集約）	114	・水源地域の活性化に関する指標では、日吉ダムの水源地域ビジョンの推進状況について、イベントを行ったことや、その来場者数が記述されているが、この水源のビジョンの最終的な目標として、その水源地が健全な水源地であるためのビジョンが策定され、推進されているはず。健全な水源地であるべきというところにとれぐらい寄り得るかどうかの視点で定性的でもいいので記述を工夫していただきたい。	
					ダム周辺の施設整備内容	（人川 番号19へ集約）	115		
					湖面活用促進の取り組み内容・活用数	（人川 番号19へ集約）	116		
								・整備の実施量に関する指標だけでなく、整備することによってどれだけの人を利用したかなどの整備目的に寄与したかといった指標が望まれる。また整備の実施前後にどのような影響を与えたかが分かるデータもあるといい。	

観点及び指標に関する見直し検討資料

平成27年度淀川水系流域委員会
第3回専門家委員会
資料-4

整備計画の目次		点検項目	観点（現行）	観点（見直し案）	指標（現行）	指標（見直し案）	番号	観点・指標の見直しにかかる主な意見
維持管理	河川管理施設	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況	堤防・ダム・護岸の健康診断内容・補修箇所数	ダムの健康診断内容・補修箇所数 堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容など	117	
					ダム機能の維持内容・堆砂量	ダム機能の維持内容・堆砂量など	118	
	許可工作物（橋梁・水門等）		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導状況	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	点検、修繕内容・実施数など	119	
	河川区域等の管理		河川区域等の管理状況	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採内容・伐採面積	河道内樹木の伐採の実施状況など	120	・「河道内樹木の伐採内容・伐採面積」や「堆積土砂の除去内容・掘削量」と、河川環境における「既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数（地形変化を促すための検討状況）」とはお互いに関連しあうので相互に評価対象になるよう記述を工夫していただきたい。
					堆積土砂の除去内容・掘削量	堆積土砂の除去の実施内容など	121	
					ゴミの不法投棄の状況及び処分内容・処理量【重複】	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容など	122	

その他の全般的な意見	
	全体的な印象として、回数だけの進捗だけで、各事業の目標やメッセージが伝わって来ない。指標全体を俯瞰するものが必要。
	これまで、いろいろ議論しているが、各河川を一通り議論したら、河川ごとの特徴に応じて、どういう観点でどのような指標を加える等の議論をすることは必要。
	平成25年台風18号に関しては、治水や河川環境等の各分野に及ぶケースであることから良い点検材料である。特別警報や避難勧告の発令などの危機管理に関するマターがどのようなタイミングだったかも含めると、他の分野も交えて総合化が図れると良い。
	指標の一覧のうち、平成25年度進捗として「該当無し」とされた指標には、別の指標にて実施された取り組みにより効果は得られたというケース等もあるように伺える。進捗点検は事業実施の進捗を点検するものではなく、整備計画に掲げた目標がどの程度達成されたかを確認するものと考えている。
	進捗を評価する指標とその内容が合わないところが散見される。記述内容の工夫を行うこと。
	全体を総合してみた時に、各項目間でトレードオフの関係にならざるを得ないものがあるため、トレードオフの関係にある指標とその内容について整理して示すべき。
	進捗率だけでなく、進捗のプロセスをどう評価するかが重要。同じ1%でも内容によって重みが違う。例えば回数が減ったからといって質が低下するわけではない。